

DNA チップを用いた口腔内細菌検出による歯周病の新規診断法の検討

1. 研究の対象

2017年9月～2018年9月にDNAチップを用いた口腔内細菌検出の臨床診断における意義の検討の臨床研究に参加された方

2. 研究目的・方法

歯周病の主な原因はプラークと呼ばれる細菌バイオフィームであることが知られており、現在は歯周病との関係が深いとされる2～3種類の細菌（歯周病原性細菌）を検出するための細菌検査が提供されています。しかし、歯周病はこれらの歯周病原性細菌のみを原因として発症・進行する病気ではないため、この検査法では歯周病の罹患リスクや中長期的な病状の変化を、正しく評価・予測できない場合があります。そこで今回、新規に開発した検査装置（DNAチップ）を用いて、歯周病患者さんのお口から採取したプラークを調べ、お口の中の細菌バランスの崩れから歯周病を診断する方法を確立することを目的とした研究を行います。なお、この研究の研究期間は2022年2月～2024年3月です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、歯周組織検査結果

試料：プラーク

4. 外部への試料・情報の提供

過去の研究で得たプラークの検体は、データセンター（大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座）で匿名化を行なった後にCDに記録されており、凍結したまま株式会社ジーシーに郵送します。対応表は個人情報管理責任者が保管・管理し、データ利用は、特定の関係者のみに限定します。

5. 研究組織

株式会社ジーシー研究所：堀田紗綾子

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学歯学部附属病院 口腔治療・歯周科 三木康史

連絡先：06-6879-2375

研究責任者：

大阪大学大学院歯学研究科 口腔治療学教室 村上伸也